

# Subjective impression and event perception of auditory imagery associated with Japanese onomatopoeic representation

藤沢, 望

<https://doi.org/10.15017/459571>

---

出版情報 : Kyushu University, 2006, 博士 (芸術工学) , 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

擬音語からイメージされる音の  
印象および音源・事象の認知に関する研究

Subjective Impression and Event Perception of  
Auditory Imagery Associated with  
Japanese Onomatopoeic Representation

2007 年 1 月

藤沢 望

Nozomu FUJISAWA

# 目次

第1章 序論	1
1.1 擬音語とは	1
1.2 オノマトペに関する文献および研究	4
1.2.1 日本語オノマトペ	4
1.2.2 オノマトペと音象徴	6
1.2.3 日本語以外の言語におけるオノマトペ	7
1.2.4 音響分野における擬音語研究	8
1.3 本研究の背景と目的	12
1.4 本論文の構成	14
第2章 擬音語からイメージされる音の印象 —擬音語辞典から選んだ擬音語—	17
2.1 実験の目的と概要	17
2.2 類似性判断実験と多次元尺度構成法	18
2.2.1 実験手続き	18
2.2.2 実験結果	20
2.3 Shefféの対比較法	20
2.3.1 実験手続き	20
2.3.2 実験結果	21
2.4 MDSで得られた刺激布置と 「音の大きさ」「音の高さ」「音の長さ」の関係	22
2.4.1 重回帰分析による刺激布置の意味づけ	22
2.4.2 擬音語からイメージされる音の印象と 擬音語表現の関係	25
2.5 第2章のまとめ	27
第3章 擬音語からイメージされる音の印象 —実際の音を表現した擬音語—	29
3.1 実験の目的と概要	29

3.2	類似性判断実験と多次元尺度構成法	30
3.2.1	実験手続き	30
3.2.2	実験結果	31
3.3	Shefféの対比較法	33
3.3.1	実験手続き	33
3.3.2	実験結果	34
3.4	MDSで得られた刺激布置と 「音の大きさ」「音の高さ」「音の長さ」の関係	35
3.4.1	重回帰分析による刺激布置の意味づけ	35
3.4.2	擬音語からイメージされる音の印象と 擬音語表現の関係	37
3.5	第3章のまとめ	39
第4章 擬音語からイメージされる音の音色		41
4.1	擬音語と音色	41
4.2	実験の目的と概要	42
4.3	擬音語辞典から選んだ擬音語の音色	43
4.3.1	実験手続き	43
4.3.2	実験結果	44
4.4	実際の音を表現した擬音語の音色	46
4.4.1	実験手続き	46
4.4.2	実験結果	47
4.5	擬音語からイメージされる音の音色と擬音語表現の関係	49
4.6	結果と考察	51
4.7	第4章のまとめ	54
第5章 2モーラの擬音語からイメージされる音の音色		55
5.1	実験の目的と概要	55
5.2	SD法による音色評価実験	57
5.2.1	実験手続き	57
5.2.2	実験結果	61
5.3	擬音語の音韻的特徴とイメージされる音の音色の関係	62

5.3.1	数量化理論 I 類による音色予測モデル	62
5.3.2	分析結果	63
5.3.3	音色評価尺度の集約	64
5.3.4	音色予測モデルの有効性	67
5.4	第 5 章のまとめ	72
第 6 章 擬音語からイメージされる		
	音の種類や音源・事象の認知	73
6.1	本章の背景と目的	73
6.1.1	擬音語から得られる情報	73
6.1.2	音源・事象の認知に関する研究	73
6.1.3	実験の目的と概要	75
6.2	自由記述実験	76
6.2.1	擬音語辞典から選んだ擬音語	76
6.2.2	実験結果	77
6.2.3	実際の音を表現した擬音語	79
6.2.4	実験結果	80
6.3	自由記述実験の結果と擬音語表現の関係	
	— 打撃・衝突音について —	83
6.4	第 6 章のまとめ	86
第 7 章 2 モーラの擬音語からイメージされる音の種類や		
	音源・事象の認知および衝突音による聴取実験	87
7.1	実験の目的と概要	87
7.2	2 モーラの擬音語を用いた自由記述実験	88
7.2.1	実験手続き	88
7.2.2	実験結果	90
7.2.3	擬音語表現と音の種類や音源・事象の関係	94
7.2.4	「打撃・衝突音」のカテゴリに	
	分類された擬音語とその特徴	95
7.3	衝突音を用いた聴取実験	98
7.3.1	実験の目的	98

7.3.2	衝突音の作成	98
7.3.3	実験手続き	102
7.3.4	擬音語回答および衝突音の分析	102
7.3.5	衝突音の持続時間と擬音語の形態パターンの関係	107
7.3.6	衝突音のスペクトル重心と 擬音語の第1音節の母音の関係	110
7.3.7	板および鉄球のサイズと 擬音語の第1音節の子音の関係	112
7.4	第7章のまとめ	114
第8章	擬音語による音の表現・伝達の過程	115
8.1	本研究で得られた知見について	115
8.2	音の発生および聴取と擬音語による音の表現・伝達の過程	118
第9章	総括	123
	参考文献	125

謝辞